

令和3年度

行政懇談会における質問等の対応状況調査票(第1回)

上 勢 区

上勢区行政懇談会

令和4年8月1日現在

No.	質問等	回答	対応状況	備考
1-1	町立小中学校の給食のアレルギー対応を沖縄市と同様に行ってほしい。 沖縄市では給食センターでアレルギーのある子のために特別食を作ってくれるらしい。 一方で、北谷町は弁当を持参しなければならない。 今年も沖縄市では卵の使用が3回に対して、北谷町では10回以上の月があった。 アレルギー食材はごく一部の人の問題ではなく、潜在的に多くの人に影響を及ぼしていると考えられる。 ぜひ沖縄市の取り組みを参考に北谷町でも導入してほしい。	現在の給食センターは老朽化が激しくアレルギー食に対応できませんが、整備を進めている新しい給食センターではアレルギー食にも対応できるよう検討しております。食物アレルギー対応指針の策定については、沖縄市や先進地からの情報も取り入れ検討いたします。	回答のとおり	学校給食センター
1-2	中部広域都市計画図を見ると、山側は、「第一種低層住居専用地域」と「第一種中高層住居専用地域」とあるが、できれば山側全て「第一種低層住居専用地域」にしてほしい。 これ以上増えると圧迫感があり、風も通らず空気がよどみます。盗撮被害の恐れもあるかもしれません。 大規模マンション等をつくるなら海側だけにしたい。	「第一種低層住居専用地域」や「第一種中高層住居専用地域」とは、都市計画法で定められた「用途地域」ですが、これは、地域の目指すべき土地利用の方向を考えて決定されています。 「用途地域」は、基本的に、あるべき市街地像に対応した安定的な枠組みとして定められるべきものであるため、「用途地域」の見直しを行うには、「都市計画マスタープラン」において地域の将来像の変更が行われる場合に、必要に応じて検討されるものです。 令和3年度から令和4年度にかけて、「都市計画マスタープラン」の改定作業を行います。現時点では地域の将来像について大きな変更はないものと想定されるため「第一種中高層」から「第一種低層」への変更は予定していません。	回答のとおり	都市計画課
1-3	吉原634番地1の横の階段を、きれいに補装して頂きたい。 雑草が生茂っており、子ども達が桃原公園に行く際などの通り道となっているため。	当該箇所については、町が管理する通路となっておりますので（私有地）、私道整備事業等を活用した舗装改修工事などの検討をお願いします。	回答のとおり	土木課
1-4	現在、第二小学校以外の3つの小学校がオープン教室となっているが、メリットよりもデメリットの方が多いと思う。なぜなら、廊下側に座る子は席替えするまで、教室外から聞こえる音で先生の授業に集中できないとのこと。席替えするまでの一時かもしれないが、その間の子どもたちの成長を妨害していないか。できるだけ早く防音壁を作ってあげてほしい。	オープン教室は、広い空間を有効に活用した教育活動が行われること、学年ごとのまとまりを構成することが可能となり、学級を超えた様々な活動を展開できるメリットがございます。一方、視覚や音環境が課題となりやすい点も認識しております。この課題については、北谷第二小学校に設置した可動式の間仕切壁が解決策として有効であると考えられます。 しかしながら、既設のオープン教室に間仕切壁を設置することにつきましては、各種法令の確認や設備機器の配置の見直し等を行う必要があり、また多額の経費を伴うものになりますので、長寿命化計画などに照らしながら、改修の時期の見極めが必要であると考えております。 なお、昨今の新型コロナウイルス感染症対策やICT導入による影響により、現在の学校における教室の広さも課題にあげられており、文部科学省では、これまでより広い面積を確保する必要が検討されていることから、教室の間仕切壁の設置を含めた施設整備については、情勢を注視しながら検討してまいります。	回答のとおり	教育総務課